

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901011

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	上沢木地区 ○事業期間 平成23年度～平成29年度 ○総事業費 604,406千円 ○事業内容 営農用水施設(浄水場、配水管路)改修
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	共栄地区 ○事業期間 平成22年度～平成25年度 ○総事業費 81,000千円 ○事業内容 営農用水施設(浄水場)改修
事業名	農地整備事業(畑地帯担い手支援型)	見直し年度		
事業期間	平成22年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道	関係課	#N/A	
事業指標	営農用水施設改修		#N/A	
事業目標	2浄水場	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	1 住民の関与が有る	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を支持・増進し、生活基盤施設の整備を進め、産業と生活空間の快適さを図る。			共栄浄水場 調査計画 道 50% 町 50% 負担金 2,500千円	上沢木浄水場 調査計画 4,406千円 共栄浄水場 調査設計 6,300千円 (内補助対象分 6,210千円) 調査計画 道 50% 町 50%(負担金 2,203千円) 調査設計・改修工事 国 45% 道 27.5% 町 27.5%(負担金 1,798千円)	上沢木地区 調査設計ほか 91,925千円 共栄地区 計装機器更新 71,025千円 調査設計・改修工事 国 45% 道 27.5% 町 27.5%
	事業費(千円)	53,520	0	2,500	4,001	47,019
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	32,900				32,900
	その他	0				
一般財源	20,620		2,500	4,001	14,119	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	32,869	0	951	3,522	28,396
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	13,200				13,200
その他	0					
一般財源	19,669		951	3,522	15,196	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 起債(一般公共)	【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	調査計画	浄水場改修
	年度達成率				38%	60%
	全体達成率	0%	0%	2%	8%	61%
	事業進捗状況			☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	農地整備事業(畑地帯担い手支援型)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	辻 栄 浩 二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	営農用水受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	浄水場の改修								
【抱える課題やニーズは】	共栄中雄武浄水場の老朽化 上沢木浄水場の老朽化・配水管の小径に伴う流量不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安定した水の供給	① 浄水場改修の箇所数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1箇所	実績値	1箇所	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1箇所										
実績値	1箇所										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	ライフラインに対する信頼(安心)の獲得	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	共栄中雄武浄水場の計装機器更新	北海道の工事発注によって、共栄中雄武浄水場の計装機器を更新された。									
	上沢木浄水場、配水管路の調査設計	北海道から業務委託され、上沢木浄水場・配水管路の調査設計が行われた。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	施設の老朽化や経営規模の拡大により、浄水施設の閉塞や配水管路の能力不足に伴う障害が発生しており、営農用水施設の安定的かつ良質な水の供給を図るため、必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	共栄中雄武浄水場においては、老朽化した計装機器の更新が行われた。また、上沢木浄水場・配水管路においても、次年度から工事着手できるように調査設計が行われた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業主体は北海道であり、事業を進めるにあたり都度協議を行い、測量試験費の軽減を図るなど、事業費抑制策を講じている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

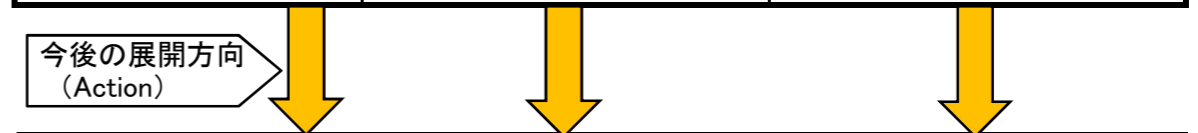
公平	判断の理由	地域農業の振興や生活基盤の整備を図る事業であって、造成された施設の維持管理は地域の水道利用組合が担っている。また、施設の電気代、薬品代等の維持管理費は各組合員が負担しており、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
概ね計画どおりの事業展開となっているが、安定した水の供給に至るまでは、行政主導で実施する必要がある。		



継続/現状維持		
酪農経営の安定化には、良質な水は必要不可欠であり、引き続き最優先して実施すべき事業と判断し、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止